

## 係員

川村 空

KAWAMURA Sora

令和4年一般職(高卒程度)事務  
函館税関総務部会計課  
(函館税関採用)

### 略歴

- 令和 4年 4月 函館税関総務部人事課 採用
- 令和 4年 9月 函館税関苫小牧税関支署統括監視官  
(取締第2部門担当)付
- 令和 6年 7月 函館税関総務部会計課  
現在に至る

## 多様なフィールドで自分の可能性への挑戦

私は令和4年に函館税関に入関し、管内で外国貿易船の入港隻数が最多である苫小牧税関支署において取締業務に従事した後、現在は総務部会計課経理係に所属しています。

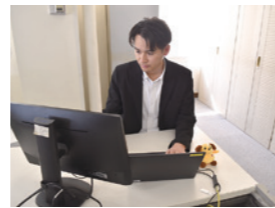
会計課は、契約業務、物品管理、旅費支給など、組織運営を支える事務を担い、その中で私は旅費支給を担当し、法律に基づいた適正な旅費の支給事務を行っています。

税関職員は取締対応、事業者訪問、各種研修・会議など様々な出張の機会があり、旅費の支給手続きは欠かせません。正確かつ速やかな処理で、現場最前線の職員が安心して業務を遂行できるよう心掛けています。

税関の業務は多岐にわたりますが、確実に業務経験を積み重ねることで、自分自身の成長に繋がり、国民の安全・安心や経済活動に寄与できる点に大きなやりがいを感じています。

また、これまでの海港取締や会計課での経験を通じて、「相手に伝える」ために、わかりやすさや相手の気持ちに寄り添った対応ができるようになり、仕事上のコミュニケーション能力が向上していることを実感しています。

皆さんも多様なフィールドで、自分の可能性へ挑戦し、やりがいと成長を実感できる税関の職場で働いてみませんか。



## 課長補佐

齋田 麻里

SAIDA Mari

平成17年II種行政  
沖縄地区税関那覇空港税関支署  
統括監視官(旅具通関部門)付 上司監視官  
(沖縄地区税関採用)

### 略歴

- 平成17年 4月 沖縄地区税関総務部人事課 採用
- 平成25年 7月 沖縄地区税関監視部統括監視官(監視総括部門)付  
監視官
- 令和元年 7月 沖縄地区税関那覇空港税関支署統括監視官  
(機動部門)付 監視官
- 令和 4年 7月 沖縄地区税関那覇空港税関支署情報管理官付調査官
- 令和 6年 7月 沖縄地区税関那覇空港税関支署統括監視官  
(機動部門)付 監視官
- 令和 7年 7月 沖縄地区税関那覇空港税関支署統括監視官  
(旅具通関部門)付 上司監視官
- 現在に至る

## 自己のスキルアップとキャリア形成

私は、平成17年に沖縄地区税関に入関し、監視取締では薬物及び金(金地金)密輸の摘発、事後調査では企業に対する税務調査、人事課厚生係では職員の福利厚生を担当し、幅広く税関業務を経験してきました。

幅広い分野で専門性の高い経験を積めることや、充実した研修制度でスキルアップをはかれるところが魅力であり、このように経験と知識を積み重ねながら、キャリアを築ける環境にやりがいと責任を感じています。

現在は、課長補佐として、業務全般を効率的に遂行するための段取りや役割分担、実務処理に加え、他班との調整や部門全体の研修を担当しています。

また、私自身が育児・介護休暇や短時間勤務を利用して働いてきた経験から、支援制度を必要とする職員に対しライフステージに寄り添った働き方のサポートにも力を入れています。

これまでの経験を活用し様々な案件を具現化する場面も多く、自ら考えたことを実践できる現在が、最も楽しく充実している時期ではないかと感じています。

税関は、多様な業務を経験しながら自己のスキルアップを図り、自分らしいキャリアを形成できる組織です。皆さんと共に成長しながら働くことを楽しみにしています。



## 係長

吉谷 将司

YOSHIYA Masashi

平成20年III種行政  
門司税関福岡空港税関支署総務課  
総務係長  
(門司税関採用)

### 略歴

- 平成20年 4月 門司税関下関税関支署総務課 採用
- 平成20年10月 門司税関福岡空港税関支署統括監視官  
(第2部門担当)付
- 平成22年 7月 門司税関厳原税関支署統括監視官付
- 平成24年 7月 門司税関監視部麻薬探知犬管理室 係員
- 平成28年 7月 門司税関総務部総務課企画係 係員
- 令和 4年 7月 門司税関総務部税関広報広聴室 広報広聴専門官
- 令和 6年 4月 令6年度新規採用研修 教育官
- 令和 6年10月 門司税関福岡空港税関支署総務課 総務係長  
現在に至る

## 税関で広がる、多彩なキャリア

税関の仕事の幅広さには、正直驚かされました。

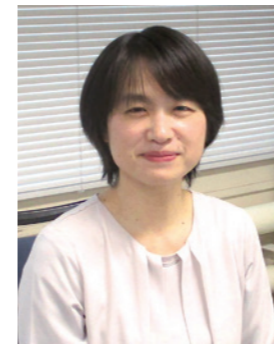
私自身、空港の旅具通関や離島の監視取締、麻薬探知犬のハンドラーなど国境の最前線の業務に携わるとともに、機構定員・法制執務、税関150周年の広報、そして新規採用職員の教育官など、多彩な業務を経験してきました。

どの職場にも共通していたのは「国境を守る税関職員としての誇り」と「チームで成果を生み出す一体感」です。密輸阻止や水際対策など緊張感のある業務を仲間とともに成し遂げる達成感は、この仕事ならではの魅力だと感じています。

現在は総務係長として最前線で働く職員を支えながら、組織全体が力を発揮できる環境づくりに取り組んでいます。現場を経験してきたからこそ、職員一人ひとりの思いや熱意を理解し、その力を最大限に発揮できる組織づくりに貢献できると信じています。

税関には、多彩な業務フィールドと互いを尊重し支えあう風土があります。国際社会と向き合い、社会の安全・安心を守る税関の仕事には、大きな責任と確かな誇りがあります。

「日本の未来を水際で守る」そんな仕事に、皆さんも挑戦してみませんか。



## 課長

高原 聡美

TAKAHARA Satomi

平成8年II種化学  
名古屋税関総務部税関監察官  
(名古屋税関採用)

### 略歴

- 平成 8年 4月 名古屋税関総務部人事課 採用
- 平成26年 7月 名古屋税関業務部特別分析官付 上席分析官
- 平成30年 7月 名古屋税関業務部管理課 課長補佐
- 令和 2年 7月 名古屋税関業務部統括分析官
- 令和 5年 7月 名古屋税関業務部関税鑑査官
- 令和 6年 7月 名古屋税関業務部統括審査官(通関第2部門担当)
- 令和 7年 7月 名古屋税関総務部税関監察官
- 現在に至る

## 成長を支える多様なフィールドがあります

税関に採用されてから30年、技術系区分(化学)で受験したこともあり、係員時代は最初の1年を除き、関税中央分析所と名古屋税関の分析部門で分析業務に携わりました。係長以降は、分析部門に加えて、通関や品目分類といった実務分野の他、共済係や管理課など総務・管理系の業務にも携わってきています。

通算15年経験した分析部門では、不正薬物や金の鑑定、輸入貨物の分析などを通じ、化学の知識を活かして、税関の使命である安全・安心な社会や貿易を支える業務に寄与してきました。また、総務・管理系部門では、組織全体を見渡す視点や調整力を身につけることができ、こうした経験の積み重ねは、課長職となってからの部門運営でも大きな基盤となりました。

税関のキャリアは、専門分野を深めながらも多様な部署を経験し、幅広いスキルを育むことができる点が特徴です。ワークライフバランスを支える制度も整っており、ライフイベントと両立しながら成長していける環境が用意されています。

国の安全と貿易を支える仕事に挑戦し、税関であなたらしいキャリアを築いてみませんか。

